

5) 脳梗塞の ICD10別患者数等



ICD-10	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血および関連症候群	3日以内	23	4.87	65.61	0.00%
		その他	3	4.33	65.33	0.00%
G46\$	脳血管疾患における脳の血管（性）症候群	3日以内	0	-	-	-
		その他	0	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	136	18.74	72.43	38.24%
		その他	25	20.28	77.20	28.00%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	9	8.33	69.44	0.00%
		その他	28	5.61	70.89	0.00%
I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞にいたらなかったもの	3日以内	4	23.25	77.25	25.00%
		その他	0	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	0	-	-	-
		その他	1	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	0	-	-	-
		その他	0	-	-	-

定義	最も医療資源を投入した傷病名が上記のICD-10の患者数を発症日から『3日以内』『その他』と分けて記載しています。1入院1件と集計し、院内発症の脳梗塞は開始日を開始日としています。
解説	<p>発症して早期に入院される患者様が大半で平均年齢は71～72歳で高齢者の患者様が多くなっております。平均在院日数は病名によって差がありますが、長くても20日程度の入院期間で治療とリハビリを行い、半数以上の方が自宅もしくは施設へ退院し、約4割の患者様が継続リハビリのためリハビリ専門の病院へ転院されています。</p> <p>また、当院では主に内科と脳神経外科で脳梗塞の患者様の診療をおこなっております。内科では、脳梗塞で脳血管に詰まった血栓を溶かし血流を再開させる血栓溶解療法（t-PA治療）を行い、医師により手術適応と判断された場合には、脳神経外科の医師へ引き継がれます。また、救急外来の患者様についても脳神経外科医がいつでも迅速に対応することが可能です。</p> <p>なお、集計でI675（もやもや病）に分類される症例は1件でした。患者さまが特定され得るため、情報は記載いたしません。</p>